

鋳 工 業

鋳 業 本県鋳業の主なものは天然ガスと砂鉄がある。ガス化学工業の原料として注目されている天然ガスの本県における埋蔵量は、推定2千億立方メートルとみられている。その生産量は利用度の拡大にともない、生産量は年々上昇し、34年には全国生産量の25%を占め、新潟県に次いで第2位で、10万立方メートルに達し、この3年間（32～34年）に、約4倍に大きく飛躍している。

砂鉄の生産量は241千トンで、前年に対し35%増加し、県内産砂鉄を原料とする製錬工場の増設によつて、本県砂鉄の開発は、さらに促進されるものとなるであろう。

製造工業 34年工業調査の結果によると、工場数6916、従業者数93千人、前年に比べて工場数は、3人以下の従業者を有する工場が205減少したので、全体で186減少しているが、従業者数では9.4千人増加している。

また、従業者規模で工場の内訳をみると、3人以下の零細工業が53%を占め、比較的規模の大きい300人以上の工場は、23を数えるに過ぎない。

なお、出荷額は1644億円で、前年の1247億円に比し32%の増加となつている。これを産業別にみると、食料品が総出荷額の36.1%、鉄鋼28.6%、電気機械器具6.9%、化学工業4.2%、の割合を占め、前年に比べ鉄鋼80%、電気機械器具70%、窯業68.8%、化学工業49.6%と高い成長をみせているものの、従来製造業の中心であつた食料品工業は、わずか5%の伸びを示しているに過ぎず、そのウエイトも年々減少し、工場誘致の実績が本格的にあらわれてくるにつれて、将来は重化学工業部門にその地位を譲ることになるだろう。

鋳工業生産指数 生産指数（昭和30年＝100）は年々上昇し、昭和34年には、総合で215.6となつている。鋳業571.7、そのうち金属工業は716.0、天然ガスは506.0と前年に引続いて急激な上昇を示している。

また、製造工業は212.7なかでも化学工業717.9、窯業325.6、鉄鋼業309.2、電気機械器具929.6と驚異的な伸びを示している。

つぎに全国指数は177.8であり、前年に比し22.1%の上昇率であるが、本県は26.2%の増加となり、全国の伸びを上回り、今後もさらに上昇する傾向にあるので、本県鋳工業の未来はあかるい。